

2006年5月25日

「The Future of Food」日本語版製作賛同と全国上映運動への参加呼びかけ

日本有機農業研究会科学部

米国のドキュメンタリーフィルム「The Future of Food」の上映運動がカリフォルニア州メンドシーノ郡の行った画期的なGM禁止措置に影響を与えたと言います。Deborah Koons Garcia 監督はGM問題を農薬使用の歴史から説き起こし、食料生産の担い手が家族農家から大規模企業農場へ変わり、生物特許を認める流れと遺伝子組み換えによる企業の種子支配、自殺種子の開発、バイオ企業と政治の密接な関係にも触れ、また、懸念を表明する科学者、原種の遺伝子汚染、特許侵害と戦う農家たちなど、個々の証言を丹念に拾いながら、食料の未来を握るのは誰かというGM問題の本質を問いかけています。

そして食糧生産には多様性が不可欠であること、それを企業化した貪欲な商業栽培が栽培法においても品種においても多様性を失わせしめ、生態系全体が単純化しすぎて一気に病害で全滅する危機に直面していること、これを防ぐためには多様性豊かな自然に沿った農法とそれに合わせた食べ方があり、対案は有機農業と提携、CSA等があると伝えています。

日本有機農業研究会は、この優れたドキュメンタリーを日本でも広く上映し、GM問題の本質を知らせる一助にしたいと、このフィルムの日本語版製作を考えています。すでに翻訳の許可をとり、翻訳も終わっています。吹き替え、字幕の技術的な部分は(株)グループ現代の製作協力を得ることになりました。秋には完成の予定です。

つきましては以下の賛同支援・普及活動へのご参加を呼びかけます。

< 賛同支援 >

賛同支援をいただいた場合、以下の目安で日本語版 DVD をお渡しいたします。また、7月末までに賛同支援いただいた場合、日本語版 DVD に、制作協力としてお名前が入ります。

賛同（1口以上いくらかでも）

賛同個人 1口 5000円 DVD1枚 またはVHS1枚（送料込み）

賛同団体 1口 10000円 DVD2枚 またはVHS2枚（送料込み）

賛同金振込み口座 郵便振替 00140-2-721584 口座名：日本語版製作委員会

（名前の掲載が不可の場合はその旨を記載ください）

< 普及活動 >

賛同団体で、全国普及・上映会に協力いただける方は「The Future of Food」日本語版委員会へぜひご参加ください。試写会、ちらし、リーフレット、広報、ブログ製作などもあわせ、全国普及をご一緒に取り組んでいきませんか。遠方で会議には参加できない方もメーリングリストで情報を共有していきます。参加いただける団体は団体名・担当者名・電話／FAX メールアドレスを以下へご連絡ください。（第1回目の当日、都合がつかない場合もお知らせ下さい。）

電話／ 03-3818-3078 FAX/03-3818-3417 日本有機農業研究会事務局

E-mail: future_of_food@yuki-sagami.net

第一回日本語版委員会

6月7日（水）1時半から 飯田橋セントラルプラザ17階学習室C